



中小企業の海外展開支援強化に向けて インターネット為替予約サービスを開始

NSSOLのCrossMeetzを導入して新規顧客拡大を実現

背景

中小企業の海外展開支援強化に向けてインターネットサービス「商工中金外為Web」を拡充する。SaaSを活用して為替予約サービスを短期間で開始し、為替リスクのヘッジを顧客が手軽にできるようにしたいと考えた。



株式会社商工組合中央金庫
国際部
次長
安達 康宏氏



株式会社商工組合中央金庫
国際部
主任調査役
五十嵐 利彰氏

ソリューション

取引レートの自動配信やリープオーダーへの対応などを評価して、新日鉄住金ソリューションズが提供する外為総合インターネットサービス「CrossMeetz」を採用。商工中金の顧客や業務に合わせた構成でサービスを提供する。

成果

為替予約サービスを2013年12月から開始。商工中金外為Webで総合的なサービスを提供できるようになった。新規顧客の増加など期待した以上の成果を上げており、これからも顧客ニーズに応じてサービスを拡充していく。

商工中金外為Webの拡充へ、為替予約サービスの追加を検討

「人を思う。未来を思う。」をコーポレートスローガンに中小企業組合や中小企業に総合的で質の高い金融サービスを提供する商工組合中央金庫(以下、商工中金)。中小企業の海外展開支援の一環として、外国為替インターネットサービス「商工中金外為Web」を提供している。商工中金が商工中金外為Webに、為替予約サービスの追加を本格的に検討したのは2012年6月である。同金庫は当時、法人向けの為替予約をすべて電話取引で行っていたが、取引レートの提示にタイムラグがある、事務にミスが発生するリスクがある、といった課題に対処する方法を探していた。対策として商工中金は、SaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)型の対顧客向けインターネット外為サービスを活用して、為替予約サービスを短期間で開始する計画を立てた。

CrossMeetzを採用し、商工中金向けの構成でサービスを提供

商工中金は、顧客への実勢レートの自動配信やリープオーダー(指値注文)への対応といった要件を基に、商工中金外為Webに追加する外為予約サービスの基盤として、新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)の「CrossMeetz(クロスミーツ)」を選択する。CrossMeetzは、ホワイトレベルのSaaS型対顧客向け外為総合インターネットサービスで、金融機関ごとにカスタマイズした構成でサービスを提供できる。ドイツの360 Treasury System AG(360T)との提携により取引レートの競争力も高い。

商工中金向けの構成は2013年4月に開発が始まった。NSSOLは商工中金の顧客や業務に合わせて、数十項目に及ぶカスタマイズを行い、2013年10月に開発を完了。商工中金は、同年12月からインターネット為替予約サービスの提供を始めている。

契約数が順調に増加、新規顧客が約65%を占める

為替予約サービスの開始に伴って、商工中金外為Webは、従来から提供する外国送金サービスなどを含めて、総合的な外為インターネットサービスに拡充され、中小企業をこれまで以上に支援することが可能になった。

為替予約サービスの契約数も順調に増加している。2014年3月末で78社に達しており、約65%を新規顧客が占めるなど、期待した以上の成果を上げた。顧客である中小企業からも、操作が分かりやすく、取引レートの競争力が高い外為予約サービスであると評価されているという。

商工中金は今後も顧客ニーズに合わせて、取引通貨の拡大など、外為予約サービスの内容を拡充していく計画である。

Key to Success

商工中金が、商工中金外為Webに為替予約サービスを追加した背景は、顧客である中小企業の海外展開支援を強化することである。

国際部 次長の安達康宏氏は「近年、中小企業の海外展開が一段と進んでいます。当金庫も商工中金外為Webを提供してきましたが、お客様がより手軽に為替リスクをヘッジできるよう、インターネット為替予約サービスの追加を検討しました」と話す。

国際部 主任調査役の五十嵐利彰氏は「電話取引による為替予約では、提示する取引レートにタイムラグがある、事務の作業にミスが発生するリスクがあるといった課題があります。インターネット為替予約サービスを活用すれば、それらの課題を解決し、より多くのお客様をご支援できるようになります」と述べる。

商工中金は外為予約サービスの基盤としてNSSOLのCrossMeetzを選定する。

五十嵐氏は「取引レートの自動提示、リープオーダーへの対応といった要件を基に、複数のITベンダーのサービスを比較しました。取引レートの自動配信を実現しているサービスがCrossMeetzだけだったことが選択の大きな決め手になっています」と語る。

商工中金向けの構成で外為予約サービスを提供するため、NSSOLは商工中金の顧客や業務に合わせて、数十項目にわたるカスタマイズを行った。

安達氏は「この為替予約サービスのお客様は中小企業で、1回当たりの取引額の平均値は大企業ほど大きくありません。操作ミスを防ぐために取引額に上限を定め、それを超えたときにアラートを出して処理を停止する機能を

持たせました」と振り返る。

五十嵐氏は「事務効率を高めてミスを減らすため、当金庫の業務システムとCrossMeetzの間で効率的にデータを交換できる仕組みを整える、当金庫オリジナルの帳票を作成する、為替予約の期日を電話取引と同じように翌日から設定できるようにする——などの工夫を行いました」と語る。

契約者の伸びは予想以上 取引レートの競争力も十分

2013年12月から提供が始まった商工中金外為Web 為替予約サービスの成果は、短期間で表れている。

五十嵐氏は「契約者の伸びは予想以上です。電話取引を行っていたお客様の乗り換えが多いと考えていましたが、実績を見ると従来は経常的な取

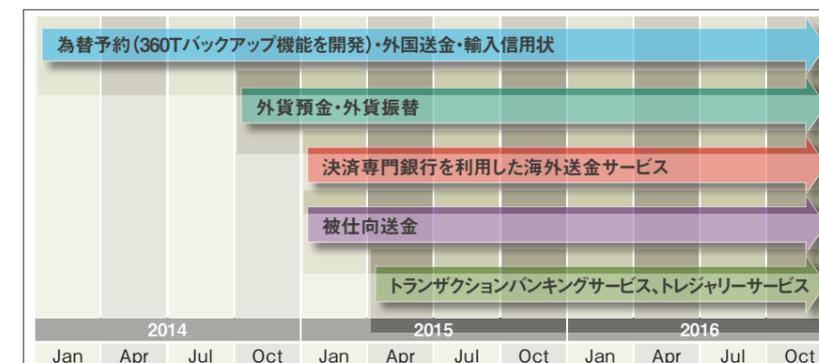
引がなかった新規のお客様の割合が高くなっています。また、機能が一般のお客様向けに絞られているため、操作画面が分かりやすく、お客様から操作方法に関する質問がほとんど来ません」と語る。

NSSOLの技術サポートに対する評価も高い。五十嵐氏は「要望を出すと約1週間に対応が終わります。CrossMeetzは、金融機関ごとの構成でサービスを提供できるうえに、NSSOLのエンジニアがきめ細かく変更をサポートしてくれます」と評価する。

今後も、商工中金は外為予約サービスの内容を拡充していく。

安達氏は「CrossMeetzには多くの機能が用意されていますが、商工中金外為Web 為替予約サービスでは、すべてを使っていません。これからは、取引通貨を増やすなど、お客様のニーズに合わせて機能を増やしていきたいと考えています」と語る。

■CrossMeetzサービスロードマップ



※当ロードマップは予定でありサービス提供の時期を確約するものではなく、弊社戦略、社会情勢、お客様の要望等により予告なく変更する場合がございます。

■商工中金が提供する「商工中金外為Web」



■コアテクノロジー

absone(アブソンス) Enterprise Cloud Service、360T、UX(ユーザーエクスペリエンス)

■システム概要

- クラウドサービス：外為総合インターネットサービスCrossMeetz
- ネットワーク：インターネット

商工中金

株式会社商工組合中央金庫
本店所在地：東京都中央区八重洲2-10-17
会社成立：1936年
貸出金：9兆4727億円(2014年3月31日現在)
従業員数：4129名(2013年9月30日現在)